

## まえがき

スパイクタイヤの禁止に伴い、冬期の交通安全確保のために凍結防止剤を散布することは必要不可欠なものとなっています。しかし研究開始当初、凍結防止剤による植物への影響については、高速自動車国道以外には十分な資料が無く、一般国道における状況に対しては、いくらかの懸念がありました。

本資料は、最新の知見に基づき、冬期道路交通の安全・安心・円滑が確保され、沿道環境への影響が少ない凍結防止剤散布方法について検討する目的で設立した、学識経験者による「効率的な凍結防止剤散布方法に関する検討委員会」(平成17年度～18年度)の成果をとりまとめたものです。

本資料に示した現地調査および実験は、国土交通省北海道開発局および各地方整備局の協力のもとに平成12年から行われてきたものです。関係者の方々に謝意を表します。

また、委員長を務めて頂きました長岡技術科学大学丸山暉彦教授をはじめ、委員の皆様には、専門的な見地から貴重なご意見を多数いただき、深く感謝の意を表します。

本委員会の実施に際しては、社団法人雪センターの中川誠さん、石平貞夫さん、沖田圭右さんには、事務局としてひとかたならぬご支援をいただき、この場を借りて心から感謝の意を表します。

本資料が、関係各位の情報共有により、冬期路面の維持管理の発展に寄与することとなれば幸いです。